

# Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第 49 号 (2025 年 2 月 10 日発行)

新年を迎えて早くもひと月が経ちました。2025年度は8月のアジアジュニアユース選手権、11月の東京2025 デフリンピック、3月のスキーO 世界選手権と、国際大会が開催されます。皆様には応援・ご参加・運営協力などで盛り上げていただけますと幸いです。

## 本号の内容

- ・ 2024 年度 全日本大会オリエンテーリング選手権大会(スプリント)開催予告
- ・ アジア選手権(AsOC)、アジアジュニアユース選手権(AsJYOC)報告
- ・ 最近の活動から:タイでのアジア選手権運営の記
- ・ アジア協会総会報告
- ・ スキーO 活動報告
- ・ MTBO マスターズ世界選手権大会のお知らせ
- ・ 今後の公認大会・講習会のお知らせ

### ●2024 年度 全日本大会オリエンテーリング選手権大会(スプリント)開催予告

第 17 回全日本オリエンテーリング選手権大会(スプリント競技部門)は、2025 年 3 月 15 日の新潟大学オリエンテーリング部による越前浜スプリントに併催する方向で調整を進めています。

エントリー期間は 2 月 12 日(水)～21 日(金)です。短期間ではありますが、皆さまのご参加をお待ちしております。

開催日: 2025 年 3 月 15 日(土)  
開催地: 新潟県新潟市西蒲区越前浜地区  
大会 Web サイト: <https://www.orienteering.or.jp/jsoc/2024/>  
エントリー: <https://japan-o-entry.com/event/view/1573>

### ●アジア選手権(AsOC)、アジアジュニアユース選手権(AsJYOC)報告

12 月 22 日～25 日にタイのチェンマイにて、アジア選手権(AsOC)、及び、アジアジュニアユース選手権(AsJYOC)が開催されました。AsOC は隔年開催でしたが、COVID-19 により韓国での開催が延期の末中止となり、2018 年以来 6 年ぶりの開催となりました。タイでこのような権威あるオリエンテーリングイベントが開催されるのは初めてで、日本、香港、シンガポール、スイスからの強力なサポートにより、選手権大会として無事成立しました。開催国タイのほか、中国、香港、インドネシア、カザフスタン、韓国、マレーシア、シンガポール、台湾、日本の 10 の国と地域が参加しました。このイベントは、AsOC として W/M21E(年齢無制限)、AsJYOC として W/M20(20 歳以下)、W/M18(18 歳以下)、W/M16(16 歳以下)のクラスが設けられ、それぞれスプリント、ミドルの個人種目、3 人 1 チームの男女別リレー団体種目が実施されました。

日本は過去最多となる 50 名の選手を派遣し、好成績を修めることができました。初日のスプリントでは、地図表記の細かさや地図に無い建物などにより多くの選手が苦戦を強いられ、4 つのクラスで香港に優勝を奪われたものの、事前の徹底したトレイン分析なども功を奏し、M21E、M20、W20 で優勝を果たしました。2 日目のミドルでは、道の視認性の低さなどで地図に対する不信感を抱いた選手が大きくロスをした一方で、道を有効に使い進むべき方向に気を付けた選手などが上位に入りました。M21E では 5 位までを独占、W20 ではスプリントに引き続き 3 位までを独占し、全 8 クラスのうち、6 クラスを制しました。また、W16 では小学 5 年生の石井百花選手が 2 位に入る大健闘を見せました。さらに、ミドルと同



じテレインで実施された最終日のリレーでは、M21E、M20、W18 において出場 2 チームがワンツーフイニッシュを果たし、出場した 7 クラスのうち 6 クラスを制しました。

アジアチャンピオンとなった伊藤樹選手と本庄祐一選手は、それぞれ 2025 年のフォレスト世界選手権 (WOC)@フィンランド、2026 年のスプリント WOC@イタリアの出場権を得ました。また、今回の成績により、2025 年 8 月に中国四川省で開催されるワールドゲームズ(TWG)の出場権を日本が獲得しました。次回の AsOC は 2026 年に中国で、AsJYOC は 2025 年 8 月に愛知県設楽町で開催されます。

今回の AsOC、AsJYOC 日本チームを応援していただいた全ての皆さんに改めて感謝申し上げます。選手たちのチャレンジは今後も続きます。特に今年の夏は、例年の WOC、ジュニア世界選手権(JWOC)に加え、TWG、AsJYOC が開催されますので、今後も引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

(成績一覧は最終ページに掲載させていただきます。)



### ●最近の活動から:タイでのアジア選手権運営の記 (副会長 村越)

2018 年以来 6 年ぶりに、アジア選手権が開催されました。今回特筆すべきは東南アジア、タイでの開催だという点です。2008 年以来開催された 11 回のアジア選手権は、韓国、日本、中国、カザフスタン、台湾、香港、とカザフスタンを除くと全て東アジアで開催されてきました。今回初めての東南アジア開催となったのです。

東南アジアといえば、熱帯雨林、酷暑、未開のジャングルの中の野生動物といったイメージがあるでしょう。スプリントはともかく、道以外に走れるテレインがないのではないかと。タイからのオファーを受諾できるかどうかを確認するため下見に出かけるまでは、私もそのようなイメージを持っていました。

最初の訪問で、私のイメージは一新されました。それと同時にこれはエキサイティングな大会になるに違いない。そんな確信さえ覚えました。開催地チェンマイはタイ第 2 の古都。冬は乾期で気温は 14-28 度。森の中も比較的乾燥しており、日本の里山と大きな違いは感じられませんでした。そもそもチェンマイは熱帯ではありませんが、熱帯雨林気候ではなく、比較的乾燥したサバナ気候なのです！こうした気候条件から、欧州等からの避寒のリゾートとしても有名で、幅広いレベルの宿泊施設が建ち並び、旅行客の受け入れも慣れている様子がうかがえます。テレインがあり、旅行客の受け入れに慣れたホテルがあれば、後は技術的な面さえクリアできれば、よいのです。

タイのオリエンテーリング愛好者の数は限られていますし、もちろんプロのマッパーやコースプランに長けたものはいません。地図作成は香港のプロ作成者チュー氏に依頼することになりました。コースについては、スプリントはチュー氏が、リレーとミドルは日本の落合公也氏に依頼することになりました。地図とコースが固まれば、後は一般スタッフの教育です。

実はこちらが難儀でした。運営についてのワークショップをやるからと言ってなかなか人が集まりません。次のワークショップの時にはまた別の一群の人たちが集まるといった形で、SEA を担った私でさえ、大会当日いったいどの程度のスタッフが集まるかが分からないといった危機的な状況でした。一方で、技術スタッフは、香港から 2 名、日本からは落合氏に加え、坂野翔哉氏、寺垣内航氏の 3 名にお手伝いいただくことができました。またスイスから IOF のフット O 委員会の委員であるウルス・アシュリーマン氏が助力を申し出てくれることで、最低限の対応が可能だという感触を得ることはできました。

そんな準備状況だったので、大会期間中も綱渡りの連続でした。ミドルの日は、スタートの 3 分前になってようやく森の中の準備が整ったことが確認でき、go! を出すことができました。スプリントでは、立ち入り禁止エリアの様子が大会時間中に変ってしまったために、そこを通過する選手を特定することができず、選手には後味の悪さを経験させてしまい、申し訳なく思います。一方で、ミドルやリレーでは、熱帯とは思えないテクニカルな森でのオリエンテーリ



運営の「多国籍軍」左からマッパーのチュー氏、ウルス・アシュリーマン氏 (SUI)、チョー氏 (SGP)、ブライアン (HKG)、落合氏、坂野氏、寺垣内氏、ダニエル (HKG)

ングを楽しんでもらえたと思います。M21E では予想通りのウィニングタイムが出ました。プランナー落合氏、優勝した伊藤選手それぞれの力があればこそと思います。

今回は、こんな状況の中、「森の中の質と公平性を保つこと」を最優先し、正直それ以外のことは流しました。今後アジアの中でオリエンテーリングが普及する途上では、そういう状況に耐えるタフネスさが選手に要求されるでしょう。そういう国での開催に日本として協力することも期待されるでしょう。アジアでのオリエンテーリングの更なる発展に、皆さんのお力添えをいただきたいと感じた1週間でした。



ミドルのスタート風景。今回シンガポール、タイなど東南アジアからの参加が増えた。



ミドル選手権クラスの上位者。  
左から M21E 1 位伊藤選手、W21E 1 位の Assem 選手、M21E 2 位小牧選手。

## ●アジア協会総会報告（副会長 村越）

アジア選手権の会期中、アジアオリエンテーリング協会の初めての総会が開催された。開催に先立ち、IOF 理事である杉山氏がアジア地区のポテンシャルとそれに対する IOF の期待に触れた挨拶を行った。

その後、参加各国の現状のレポートをした後、今後 IOF と締結する覚え書きの承認に始まり、以下の点が議決あるいは議論された。

- ①2025 年に中国で開催されるワールドゲームズの出場国選考規定の確認
- ②計測機器会社 Huichang Co. を技術的パートナーとすること
- ③AsJYOC 2027 の開催地としてカザフスタンを IOF に推薦すること
- ④スキーO のアジア選手権を開催すること(開始年は未定)
- ⑤マカオを準加盟とすること
- ⑥AsJYOC 2025 (JPN)と、AsOC 2026 (CHN)についての情報共有
- ⑦ワールドオリエンテーリングウィークへの参加について

## ●スキーO ニュースレター（スキーO 委員会）

スキーオリエンテーリング委員会では、2024 年 7 月よりニュースレターを発刊しています。

2025 年 1 月 27 日に発行の Vol.3 では、1 月に開催された FISU ワールドユニバーシティゲームズ、ワールドカップでの活躍などについて掲載しています。

レース中の写真や地図により臨場感のある内容となっていますので、ぜひご一読ください。

### NEWS LETTER Vol.3

[https://www.orienteering.or.jp/ski/news/2025/NEWSLETTER\\_003\\_202501.pdf](https://www.orienteering.or.jp/ski/news/2025/NEWSLETTER_003_202501.pdf)

バックナンバーやお知らせ等は、下記スキーO 委員会のページにて随時発信しています。

<https://www.orienteering.or.jp/ski/news/>



## ●MTBO マスターズ世界選手権大会のお知らせ (MTBO 委員会)

2025 年 MTBO マスターズ世界選手権大会のお知らせです。  
今年のマスターズは 5 月 1 日～4 日にかけて、スペインのムルシアで開催されます。

プログラムは、  
1 日 ミドル  
2 日 マススタート  
3 日 ロング  
4 日 スプリント



ミドルはオレンジ畑の大迷宮？スプリントはムルシア大学のキャンパス内を MTB で爆走？ なかなかスリリングな予感しかしません・・・

大会が 5 月初めということもあり、2 月 15 日が通常エントリー締め切り、3 月 16 日が最終締め切りです。マスターズ大会は出場資格の制限なく、年齢別各クラスで競います。30 歳から 80 歳まで！希望者はだれでも参加できます。

日程が連休にあたっていることもあり、休みが取りやすいという人はチャンス！この機会に MTBO に挑戦してみませんか？

まずは体験から、という人も、Facebook の MTBO Japan のサイト(下記)から、投稿へのコメントや、メンバーへメッセージを送っていただくなど、お気軽にお問い合わせください。

大会 Web サイト <https://www.wmmtboc2025.com/>

また、8 月にはポーランド、ワルシャワにて MTBO 世界選手権大会も開催されます。日程は 8 月 10 日～17 日、これも日本のお盆休みと被っているのでチャンス！ 選考会、練習会情報は改めて告知します。



これからも MTBO Japan Team への  
応援をお願いします！

MTBO JAPAN の Facebook:  
<https://www.facebook.com/groups/mtbojapan/>

2024 年 MTBO 世界選手権大会での日本チーム

## ●今後の公認大会・国際大会・講習会のお知らせ

### 2025 年

3 月 1-2 日	SKI-Orienteering Pre Asian Championships 2025	(北海道)
3 月 15 日	第 17 回全日本オリエンテーリング選手権大会(スプリント競技部門)	(新潟県)
3 月 10-20 日	イベントディレクタ認定試験	
8 月 26-31 日	AsJYOC2025 アジアジュニアユース選手権	(愛知県)
10 月 4 日	第 14 回全日本オリエンテーリング選手権大会(ミドル・ディスタンス競技部門)	(栃木県)
10 月 5 日	第 52 回全日本オリエンテーリング選手権大会(ロング・ディスタンス競技部門)	(栃木県)
11 月 9 日	第 34 回全日本リレーオリエンテーリング大会	(滋賀県)
11 月 15-25 日	東京 2025 デフリンピック	(東京都)

### 2026 年

2 月 28 日-3 月 6 日	WUSOC2026 スキーオリエンテーリング世界選手権	(北海道)
------------------	-----------------------------	-------

## 12月22日 スプリント競技

### アジア選手権 M21E

1	本庄 祐一	14:22
2	小牧 弘季	14:43
4	伊藤 樹	15:16

### アジアジュニアユース選手権 M20

1	竹林 寛生	13:43
3	斉藤 大己	14:09

### アジアジュニアユース選手権 M18

4	大久保 佑真	13:52
5	石川 大吉	14:05

### アジアジュニアユース選手権 M16

2	畑田 裕志	12:48
---	-------	-------

### アジア選手権 W21E

2	松本 萌恵	16:21
3	近藤 花保	16:29
6	樋口 佳那	17:25

### アジアジュニアユース選手権 W20

1	太田 来和	16:35
3	小野塚 智美	17:03
4	牧 依瑠香	17:05
6	中舘 美卯	17:26

### アジアジュニアユース選手権 W18

1	高木 優彩	16:56
3	大野 知沙子	17:06

## 12月23日 ミドル競技

### アジア選手権 M21E

1	伊藤 樹	35:33
2	小牧 弘季	38:15
3	本庄 祐一	40:12
4	石原 潮人	41:33
5	谷川 友太	41:42

### アジアジュニアユース選手権 M20

1	斉藤 大己	29:27
2	石原 尋季	29:54
4	梶本 和	32:30

### アジアジュニアユース選手権 M18

1	大久保 佑真	26:08
3	上拾石 幸太郎	31:08

### アジアジュニアユース選手権 M16

1	宮脇 滉直	25:10
3	澄川 祐樹	27:38
5	小坂 暁慧	30:48
6	水野 舞人	33:36

### アジア選手権 W21E

2	山岸 夏希	39:34
4	松本 萌恵	43:02
5	樋口 佳那	43:12

### アジアジュニアユース選手権 W20

1	鈴木 万結	32:33
2	小野塚 智美	33:44
3	牧 依瑠香	34:10
5	杉田 瑠菜	35:28

### アジアジュニアユース選手権 W18

1	大野 知沙子	25:26
3	山本 瑛里	33:37
5	岡澤 里奈	41:09

### アジアジュニアユース選手権 W16

2	石井 百花	36:22
---	-------	-------

## 12月25日 リレー競技

### アジア選手権 M21E

優勝	1:34:25	
1走	本庄 祐一	33:11
2走	小牧 弘季	32:17
3走	伊藤 樹	28:56

2位	1:40:21	
1走	石原 潮人	31:55
2走	谷川 友太	36:34
3走	永山 遼真	31:51

### アジア選手権 W21E

3位	1:52:21	
1走	阿部 悠	44:36
2走	皆川 美紀子	34:00
3走	山崎 葵	33:44

### アジアジュニアユース選手権 M20

優勝	1:31:57
1走 齊藤 大己	33:17
2走 石原 尋季	29:50
3走 梶本 和	28:49
2位	1:34:48
1走 高橋 悠	32:50
2走 岩崎 壮馬	30:23
3走 竹林 寛生	31:33

### アジアジュニアユース選手権 M18

優勝	1:15:48
1走 佐藤 仁	24:33
2走 上拾石 幸太郎	28:11
3走 大久保 佑真	23:03
4位	1:34:51
1走 浅井 琉太郎	29:36
2走 平 隆広	38:08
3走 石川 大吉	27:06

### アジアジュニアユース選手権 M16

優勝	1:08:53
1走 澄川 祐樹	26:37
2走 小坂 咲慧	19:04
3走 宮脇 滉直	23:11
5位	1:34:52
1走 水野 舞人	29:45
2走 野本 凜太郎	38:03
3走 畑田 裕志	27:04



### アジアジュニアユース選手権 W20

優勝	1:45:39
1走 牧 依瑠香	30:25
2走 鈴木 万結	41:02
3走 小野塚 智美	34:11
4位	2:19:29
1走 中舘 美卯	33:35
2走 太田 来和	1:09:34
3走 杉田 瑠菜	36:18

### アジアジュニアユース選手権 W18

優勝	1:30:14
1走 山本 瑛里	32:34
2走 落合 美那	31:36
3走 大野 知沙子	26:03
2位	1:56:13
1走 岡澤 里奈	30:51
2走 石井 百花	32:56
3走 高木 優彩	52:24



以上